

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 第6次瀬戸市総合計画の進捗と瀬戸市の経済を豊かにする方策について</p> <p><b>【質問趣旨】</b> 第6次瀬戸市総合計画は、平成29年度から令和8年度までの10年間に計画期間として策定されている。10年間で、掲げた目標を達成し、定住人口の安定さらには増加を目指すものと理解している。このことが本市の経済を押し上げ、市民福祉を向上させ「住みたいまち 誇れるまち 新しい瀬戸」の実現につながる。しかしながら、現状は昨年行われた「住みやすさ」市民アンケート調査によると、「住みやすい」「まあまあ住みやすい」が78.8%、</p>	<p>(1) 第6次瀬戸市総合計画の「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」について</p> <p>(2) にじの丘学園から見える「子育て・子どものまち」の推進方策について</p>	<p>① 都市像②「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」とあるが、本市が都市像としている「子育て・子どものまち」とは、どのような状況を想定しているのか改めて、伺う。</p> <p>① 第6次総合計画を策定した平成29年10月1日の人口130,211人。同年の市全体の年少人口 16,558人。令和5年10月1日の人口は、127,568人、年少人口は 15,127人となっている。市全体で見ると人口の減少傾向が伺えるが、「にじの丘学園」周辺の人口は、児童生徒数の増加傾向からみても増えていると推察できるが、この状況を、どのように捉えているのか、見解を伺う。</p> <p>② 市民アンケート調査において、子育て支援の満足度や若い世代の居住満足度の数値が、目標値に達していないが、にじの丘学園周辺の人口は、アンケートに反して増加傾向にある。この状況をどう捉えているのか見解を伺う。</p> <p>③ 市民アンケート調査において、教育への満足度も目標値に達していない。同様に、にじの丘学園に通う方々からの声も、学力の向上については満足と言えないとの声がある。高い学力水準を目指す学校教育は、必須と考えるが、にじの丘学園の学力向上に向けた取組について、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>「住みにくい」「やや住みにくい」が 21.2%であった。この 21.2%を限りなく解消していくことが望まれる。</p> <p>ここでは、目指すべき都市像の2つめ、「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」から、本市の経済発展につながる施策を中心に質問する。</p>	<p>(3) 菱野団地における新しい小学校から見える「子育て・子どものまち」の推進方策について</p>	<p>④ にじの丘学園周辺は、想定以上に児童生徒の増加が進んでおり、教室が不足する事態が起きている。ここまで「ひと」が増え続けるという事は、人口増の観点から見ると、成功事例とも考えるが、見解を伺う。</p> <p>① 菱野団地における公立学校の適正規模・適正配置の取組により、令和8年度に開校予定の新しい小学校（施設分離型小中一貫校）のコンセプトについて伺う。</p> <p>② 瀬戸市の教育の特色として、「キャリア教育」「国際教育」「地域教育」が挙げられている。それを踏まえて、菱野団地における新しい小学校での、学習環境・教育の特色について、特に、独自教科の内容を含めた教育の特色について伺う。</p> <p>③ にじの丘学園は、学校の中心にライブラリー・多目的スペースを配置し、子ども達の交流が自然に生まれる場所や、床や壁に愛知県産の木材を使った学習スペースなど象徴的な設備が人気の理由となっている。菱野団地における新しい小学校の施設と設備について、コンセプトやどういった特色をもたせるのか、伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 学校跡地活用事業から見える「子育て・子どものまち」の推進方策について	<p>④ 菱野団地における新しい小学校は、特別支援学校や光陵中学校も含めた学校再編が行われるが、全体的なスケジュールについて伺う。</p> <p>⑤ 菱野団地における新しい小学校の内容とスケジュールについて伺ったが、現在のにじの丘学園がある祖母懐連区周辺では、にじの丘学園に通いたいとの理由で新たな転入の人口増加が見受けられる。 菱野団地における新しい小学校においても、魅力ある学校づくりすなわち、同様の横展開を期待した効果が見込まれるが、見解を伺う。</p> <p>① 地域経済の活性化は、新たな学校から生まれる「ひと」の流入から始まり、「ひと」が働くことで、「しごと」という経済が動き出し、市場が活性化、されると、「まちづくり」が必要となる。そして、地域コミュニティが連携し、地域経済の発展を促進する。 本市のファシリティマネジメント重点項目である、学校跡地利活用問題。にじの丘学園学校区の小学校跡地活用の進捗について伺う。</p> <p>② 本市の新興住宅街での世帯当たりの住民税の値が239千円、固定資産税は134千円との数字がある。 この数字を基に、学校跡地活用で定住人口を増加させる方策を考えた場合、本市の経済活性化に資すると考えるが、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③ にじの丘学園周辺では、教育環境の整備を契機とし、子育て世代の転入があり、学区内の社会増に繋がっている。 新たな学校再編の取組が、高齢化の進んだ菱野団地やまちの活性化に繋がるものと期待するが影響についてどう考えているか、見解を伺う。</p> <p>④ にじの丘学園の跡地活用事業の課題を、今回の取組に活かすためには、学校再編の機会を逃さず、原山小学校の跡地活用を実施する事が重要である。第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現のため、ファシリティマネジメントの視点も踏まえながら、地域と丁寧に協議していると考えているが、現在の進捗と見解を伺う。</p> <p>⑤ 最後に、本市における教育行政推進において、小中一貫教育の成功が本市の人口増に繋がり、本市の経済の活性化にも、良い影響を与えていると考える。 更に、瀬戸市には県立高校が4校と隣の長久手市には、愛知県立大学や愛知県立芸術大学がある。 将来的には小中一貫教育、小中一貫校はもとより、小中高校の一貫教育、そして、小中高大学の一貫教育の実現も考えられる。子ども達の学習成果の向上や教育の質の向上を目指す重要な施策の一つとし、国・県、そして本市が一体となり、協力・補完することで、本市の教育行政を進める事に先進的に取組み、人口の増加に繋げて、本市の経済を豊かにすることを、検討すべきとも考えるが、教育長に見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。